



## 平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 群馬銀行  
コード番号 8334 URL <http://www.gunmabank.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役頭取  
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長  
定時株主総会開催予定日 平成25年6月25日  
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 齋藤 一雄  
(氏名) 深井 彰彦  
TEL 027-252-1111  
配当支払開始予定日 平成25年6月26日  
特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	128,875	△0.2	33,477	5.7	20,604	9.9
24年3月期	129,079	△5.0	31,671	△5.9	18,739	8.2

(注)包括利益 25年3月期 58,180百万円 (93.6%) 24年3月期 30,057百万円 (201.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	経常収益経常利益 率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	43.37	43.35	5.0	0.5	26.0
24年3月期	38.89	—	4.9	0.5	24.5

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 30百万円 24年3月期 19百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	6,844,847	445,757	6.4	935.59
24年3月期	6,460,737	400,577	6.0	816.04

(参考) 自己資本 25年3月期 438,346百万円 24年3月期 390,475百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	57,896	△75,351	△8,750	69,725
24年3月期	40,682	△62,691	△7,012	95,580

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	4.50	—	5.00	9.50	4,568	24.4	1.2
25年3月期	—	4.00	—	6.50	10.50	4,971	24.2	1.2
26年3月期(予想)	—	4.50	—	5.00	9.50		24.7	

(注)25年3月期の期末配当金には創立80周年記念配当1円00銭を含んでおります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	34.9	10,000	33.3	21.34	
通期	31,000	△7.4	18,000	△12.6	38.42	

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 17「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期	474,888,177 株	24年3月期	478,888,177 株
--------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期	6,364,827 株	24年3月期	390,272 株
--------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数

25年3月期	475,124,109 株	24年3月期	481,923,389 株
--------	---------------	--------	---------------

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、【添付資料】P. 20「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	109,004	△0.0	30,260	6.4	18,911	4.0
24年3月期	109,053	△6.0	28,431	△7.7	18,192	2.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	39.80	39.79
24年3月期	37.75	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	6,819,090	432,036	6.3	921.93
24年3月期	6,433,687	386,121	6.0	806.95

(参考) 自己資本 25年3月期 431,945百万円 24年3月期 386,121百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	36.7	9,500	29.2	20.28
通期	28,000	△7.5	17,000	△10.1	36.28

※ 監査手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続は実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【添付資料】

## 目 次

1. 経営成績	
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	
(1) 当行の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 対処すべき課題	6
4. 連結財務諸表	
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 継続企業の前提に関する注記	17
(6) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	17
(7) 追加情報	17
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	17
5. 個別財務諸表	
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	24
(3) 株主資本等変動計算書	26
(4) 継続企業の前提に関する注記	29
役員の異動について	30

※ 平成25年3月期 決算説明資料

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### 損益状況

連結グループの中心である群馬銀行の単体の損益状況は次のとおりとなりました。

本業の収益力を表すコア業務粗利益は、資金利益が減少したことなどから前期比 25 億 11 百万円減少し、932 億 16 百万円となりました。

資金利益の減少は、貸出金や有価証券などの残高は増加したものの、貸出金利回りや有価証券利回りが低下し、利鞘が縮小したことによるものです。なお、役務取引等利益については、投資信託や個人年金保険の販売が好調に推移したものの、住宅ローンの増加に伴い支払保険料が増加したためほぼ横ばいとなりました。

経費は、預金保険料の戻入に加え物件費の削減に努めた結果、前期比 9 億 73 百万円減少し、589 億 79 百万円となりました。

これらの結果、コア業務純益は前期比 15 億 38 百万円減少し、342 億 37 百万円となりました。

有価証券関係等損益は、債券の売却益が増加したことなどから前期比 23 億 30 百万円改善し、3 億 35 百万円のプラスとなりました。

与信費用は、引き続き低水準で推移し、前期比 4 億 4 百万円減少の 57 億 47 百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前期比 18 億 28 百万円増加し、302 億 60 百万円となりました。また、当期純利益は前期比 7 億 19 百万円増加し、189 億 11 百万円となりました。

連結ベースの損益状況は、経常利益は、前期比 18 億 5 百万円増加し 334 億 77 百万円となりました。また、当期純利益は、前期比 18 億 64 百万円増加し 206 億 4 百万円となりました。

なお、当期純利益は、単体比で 16 億 92 百万円増加しておりますが、これは当期において連結収益力向上の観点から、連結子会社(ぐんぎんリース株式会社及び群馬信用保証株式会社)の株式の一部を直接買い取り、持分比率を引き上げたことにより特別利益(負ののれん発生益)を 12 億 84 百万円計上したことによるものです。

#### セグメントの状況

セグメントの状況は次のとおりであり、経常収支のほとんどを銀行業が占めております。

「銀行業」の経常収益は 1,091 億 25 百万円、セグメント利益は 302 億 60 百万円となりました。

「リース業」の経常収益は 190 億 12 百万円、セグメント利益は 12 億 80 百万円となりました。

なお、報告セグメントに含まれない「その他」の経常収益は 33 億 87 百万円、セグメント利益は 19 億 52 百万円となりました。

**平成26年3月期の業績予想**

単体ベースの業績予想は、次のとおりです。

コア業務粗利益は、資金利益の減少を主因に前期比 39 億円減少の 892 億円を見込んでいます。

資金利益の減少は、貸出金利息や有価証券利息の減少を見込んでいることによります。役務取引等利益は、投資信託などの販売が好調に推移すると見込むものの、生保付住宅ローンに係る支払保険料の増加などから若干の減少を見込んでいます。

経費は、物件費の減少などから前期比 11 億円の減少を見込んでいます(預金保険料の戻入を織込む)。

これらから、コア業務純益は前期比 27 億円減少の 315 億円を見込んでいます。

臨時費用では、有価証券関係等損益は前期比 4 億円の増加を見込んでいます。また、与信費用は、前期比 2 億円減少の 55 億円を見込んでいます。

これらから、経常利益は前期比 22 億円減少の 280 億円を見込んでいます。

当期純利益は、前期比 19 億円減少の 170 億円を見込んでいます。

連結ベースの当期純利益は、単体とはほぼ同様の理由に加え、前期に計上した負ののれん発生益がなくなることから前期比 26 億円減少の 180 億円を見込んでいます。

(単位:億円)

	中間期		通期	
	連結	単体	連結	単体
(コア業務純益)	—	155	—	315
経常利益	170	155	310	280
当期(中間)純利益	100	95	180	170

※平成 26 年 3 月期の業績予想は、現時点で入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、経済情勢や株価水準など様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

**(2)財政状態に関する分析**

**資産・負債・純資産の状況**

当連結会計年度の資産は、貸出金や有価証券が増加したことなどから期中 3,841 億円増加し、期末残高は 6 兆 8,448 億円となりました。負債は、預金や借入金が増加したことなどから期中 3,389 億円増加し、期末残高は 6 兆 3,990 億円となりました。

また、純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金などが増加したことなどから期中 451 億円増加し、期末残高は 4,457 億円となりました。

なお、単体ベースの主要 3 勘定等の状況は次のとおりとなりました。

○預金等

預金は、引き続き給与振込や年金振込口座の積極的な獲得に努めたことなどにより、個人預金や法人預金が増加したことなどから期中 1,779 億円増加し、期末残高は 5 兆 8,228 億円となりました。

譲渡性預金は、公金預金の減少から期中 250 億円減少し、期末残高は 1,208 億円となりました。

投資信託・個人年金保険等の個人預り金融資産残高は、公共債が減少したものの、投資信託や年金保険の販売が好調に推移したことなどから期中 344 億円増加し、期末残高は 8,903 億円となりました。

#### ○貸出金

貸出金は、中小企業貸出と個人貸出を合わせたリテール貸出の増加を主因に期中 2,716 億円増加し、期末残高は 4 兆 3,826 億円となりました。

中小企業貸出は期中 704 億円増加し、期末残高は 1 兆 7,342 億円となりました。個人貸出は住宅ローンを中心に好調に推移したことなどから期中 1,136 億円増加し、期末残高は 1 兆 6,504 億円となりました。大企業貸出は期中 826 億円増加し、期末残高は 7,328 億円となりました。

#### ○有価証券

有価証券は、金利水準など市場動向を注視しつつ適切な運用に努めた結果、期中 1,486 億円増加し、期末残高は 2 兆 1,388 億円となりました。

#### 自己資本比率

バーゼルⅢに基づく連結総自己資本比率(速報値)は 13.72%と高水準となりました。

また、連結Tier I 比率は 11.62%、連結普通株式等Tier I 比率は 11.62%となりました。

(単位:%)

	平成23年3月	平成23年9月	平成24年3月	平成24年9月	平成25年3月 [バーゼルⅢベース]
連結(総)自己資本比率 (国際統一基準)	12.83	13.93	13.73	13.74	13.72

(注) 平成 25 年 3 月の連結総自己資本比率は、バーゼルⅢに基づき算出しております。

### (3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

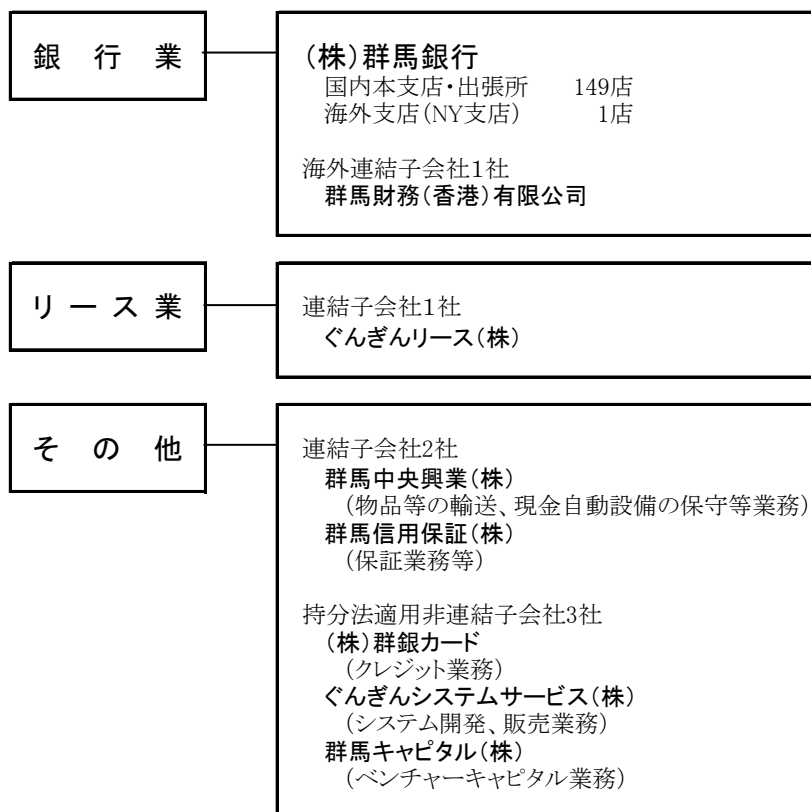
当行は、財務体質の強化に努めるとともに安定的な配当を実施するという基本方針に、業績連動の色合いを加味して利益配分を行っております。配当性向につきましては、単体の当期純利益に対して 25%を中心にさせていただいております。

なお、当期の 1 株当たり配当金につきましては、配当性向がおよそ 24%となる 9 円 50 銭に創立 80 周年記念配当として 1 円増額し、年間配当金を前年比 1 円増配の 10 円 50 銭とさせていただきたいと存じます。

また、次期の配当金につきましては、上記の基本方針に基づき 1 株当たり年間配当金を 9 円 50 銭(中間配当金 4 円 50 銭、期末配当金 5 円)と予定しております。

## 2. 企業集団の状況

当行グループは、当行、連結子会社及び持分法適用非連結子会社等で構成され、銀行業を中心にリース業などの幅広い金融商品・サービスを提供しております。



※株式会社群銀カード及びぐんぎんジェーシービー株式会社は、株式会社群銀カードを存続会社として、平成24年10月1日をもって合併しております。

### 3. 経営方針

#### (1) 当行の経営の基本方針

当行は、地域のリーディングバンクとして「地域社会の発展を常に考え行動すること」を企業理念に掲げ、経営体質の強化に努めております。

この企業理念のもと、お客さまへの「価値ある提案力の向上」により、さらなる競争力の確保に努めるとともに、引き続きマーケットの拡大を図ることで、収益力の向上を図ってまいります。

そしてお客さま、株主さま、地域の皆さまに高く評価される銀行となるよう努力してまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

「2013年 中期経営計画 V-プラン ～価値提案銀行への進化～」で目標とする2016年3月期の経営指標及び2013年3月期の実績は、以下のとおりであります。

2016年3月期(計画最終年度)

指標	目標	2013年3月期
リテール貸出末残(注1)	35,200億円	32,036億円
コア業務粗利益(注2)	960億円	932億円
コア業務純益(注3)	360億円	342億円
当期純利益	190億円	189億円
コア業務純益ROA(注4)	0.5%程度	0.52%
OHR(注5)	62%程度	63.27%
連結普通株式等Tier1比率(注6)	13.5%程度	11.62%

- (注) 1. リテール貸出末残＝中小企業貸出末残(地方公社、東京支店・大阪支店勘定を除く)＋個人貸出末残  
 2. コア業務粗利益＝業務粗利益－債券関係損益  
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費  
 4. コア業務純益ROA＝コア業務純益／総資産平残(支払承諾を含む)  
 5. OHR＝経費／コア業務粗利益  
 6. 連結普通株式等Tier1比率＝普通株式等Tier1(連結)／リスクアセット(連結)

なお、新中期経営計画「2013年 中期経営計画 V-プラン ～価値提案銀行への進化～」の詳細につきましては、インターネット上の当行ウェブサイト(<http://www.gunmabank.co.jp/>)に開示しております。

#### (3) 対処すべき課題

今後のわが国の経済動向を展望いたしますと足元に弱さは残るものの、円高修正や株高など明るい兆しが出始めています。一方、お客さまニーズは多様化・高度化し、地域金融機関への期待が高まるなかで、金融機関相互の競争は一段と激しさを増しています。

こうした経営環境のなか、当行ではこれまで取組んできた「サービスの質の向上」を継承しつつ、基本コンセプトを「価値ある提案」へ進化させ、さらなる競争力の確保に努めるとともに、引き続きマーケットの拡大を図ることを経営課題と認識しております。

かかる認識のもと、当行は、本年4月から平成28年3月までの3年間を計画期間とする「2013年 中期経営計画 V-プラン ～価値提案銀行への進化～」をスタートさせました。



本計画では、めざす企業像として「お客さまへ価値ある提案をしていく地域のリーディングバンク」を掲げ、地域金融機関として常にお客さまの立場に立ち、お客さまに対し魅力ある提案を積極的に行ってまいります。具体的には、法人向けコンサルティング機能の強化とともに、個人向けマーケティングとダイレクトバンキングの拡充に取り組んでまいります。

収益力強化に向けた対応としては、営業推進への人員投入を3年間で110名程度計画しており、貸出運用力の強化やフィービジネスの増強を図ってまいります。この観点から、主要三分野である中小企業貸出、個人貸出、預り金融資産販売とともに、無担保消費者ローンや役務収益の増強に向けて人員を投入してまいります。また、成長マーケットにおける店舗新設やローンステーションの拡充に取り組んでまいります。

さらに、経費削減や業務効率化への取り組みにより、ローコスト経営を追求するとともに、コンプライアンス態勢の強化や顧客保護等管理態勢の充実、リスク管理態勢の高度化にも引き続き努めてまいります。

4. 【連結財務諸表】

(1) 【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	191,967	91,701
コールローン及び買入手形	43,210	103,215
買入金銭債権	10,346	13,843
商品有価証券	2,400	3,119
金銭の信託	3,929	3,929
有価証券	2,008,565	2,153,710
貸出金	4,080,316	4,354,888
外国為替	4,677	5,138
リース債権及びリース投資資産	34,086	35,212
その他資産	46,264	42,133
有形固定資産	64,451	64,827
建物	14,220	13,832
土地	43,605	43,599
リース資産	1,267	1,199
建設仮勘定	285	1,531
その他の有形固定資産	5,071	4,663
無形固定資産	8,546	8,569
ソフトウェア	7,841	7,864
その他の無形固定資産	704	705
繰延税金資産	2,136	1,920
支払承諾見返	14,640	15,863
貸倒引当金	△54,801	△53,224
資産の部合計	6,460,737	6,844,847
<b>負債の部</b>		
預金	5,640,540	5,816,200
譲渡性預金	145,812	120,768
コールマネー及び売渡手形	36,611	37,432
債券貸借取引受入担保金	100,948	175,535
借入金	43,107	137,106
外国為替	453	297
その他負債	52,697	52,201
役員賞与引当金	70	58
退職給付引当金	2,601	2,654
役員退職慰労引当金	2,029	773
睡眠預金払戻損失引当金	1,127	1,086
ポイント引当金	159	120
偶発損失引当金	491	647
繰延税金負債	9,116	28,594
再評価に係る繰延税金負債	9,751	9,750
支払承諾	14,640	15,863
負債の部合計	6,060,160	6,399,089

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
純資産の部		
資本金	48,652	48,652
資本剰余金	29,140	29,140
利益剰余金	259,170	273,825
自己株式	△169	△2,960
株主資本合計	336,793	348,658
その他有価証券評価差額金	41,245	76,942
繰延ヘッジ損益	△42	△64
土地再評価差額金	13,667	13,665
為替換算調整勘定	△1,189	△855
その他の包括利益累計額合計	53,681	89,688
新株予約権	—	90
少数株主持分	10,102	7,320
純資産の部合計	400,577	445,757
負債及び純資産の部合計	6,460,737	6,844,847

(2) 【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】  
【連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
経常収益	129,079	128,875
資金運用収益	89,987	86,978
貸出金利息	65,914	63,471
有価証券利息配当金	22,789	22,401
コールローン利息及び買入手形利息	255	331
債券貸借取引受入利息	0	0
預け金利息	476	120
その他の受入利息	551	653
信託報酬	0	—
役務取引等収益	16,640	17,018
その他業務収益	19,498	20,896
その他経常収益	2,952	3,980
償却債権取立益	16	33
その他の経常収益	2,935	3,947
経常費用	97,407	95,398
資金調達費用	3,949	3,408
預金利息	2,983	2,288
譲渡性預金利息	94	74
コールマネー利息及び売渡手形利息	58	181
債券貸借取引支払利息	256	288
借入金利息	33	130
その他の支払利息	523	445
役務取引等費用	5,386	5,701
その他業務費用	17,279	16,691
営業経費	60,385	59,435
その他経常費用	10,406	10,161
貸倒引当金繰入額	5,583	5,164
その他の経常費用	4,823	4,997
経常利益	31,671	33,477
特別利益	230	1,284
固定資産処分益	230	—
負ののれん発生益	—	1,284
特別損失	716	160
固定資産処分損	400	130
減損損失	315	29
税金等調整前当期純利益	31,185	34,601
法人税、住民税及び事業税	9,801	12,199
法人税等調整額	1,130	233
法人税等合計	10,931	12,433
少数株主損益調整前当期純利益	20,254	22,167
少数株主利益	1,514	1,563
当期純利益	18,739	20,604

【連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	20,254	22,167
その他の包括利益	9,802	36,013
その他有価証券評価差額金	8,512	35,678
繰延ヘッジ損益	△3	△22
土地再評価差額金	1,377	—
為替換算調整勘定	△90	334
持分法適用会社に対する持分相当額	7	22
包括利益	30,057	58,180
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,551	56,613
少数株主に係る包括利益	1,506	1,567

(3) 【連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	48,652	48,652
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	48,652	48,652
資本剰余金		
当期首残高	29,140	29,140
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	29,140	29,140
利益剰余金		
当期首残高	247,262	259,170
当期変動額		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
当期純利益	18,739	20,604
自己株式の処分	△0	△0
自己株式の消却	△2,172	△1,665
土地再評価差額金の取崩	175	2
当期変動額合計	11,907	14,655
当期末残高	259,170	273,825
自己株式		
当期首残高	△165	△169
当期変動額		
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	1
自己株式の消却	2,172	1,665
当期変動額合計	△4	△2,790
当期末残高	△169	△2,960
株主資本合計		
当期首残高	324,890	336,793
当期変動額		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
当期純利益	18,739	20,604
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	0
自己株式の消却	—	—
土地再評価差額金の取崩	175	2
当期変動額合計	11,903	11,864
当期末残高	336,793	348,658

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
当期首残高	32,717	41,245
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,528	35,696
当期変動額合計	8,528	35,696
当期末残高	41,245	76,942
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
当期首残高	△38	△42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	△22
当期変動額合計	△3	△22
当期末残高	△42	△64
<b>土地再評価差額金</b>		
当期首残高	12,466	13,667
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,201	△2
当期変動額合計	1,201	△2
当期末残高	13,667	13,665
<b>為替換算調整勘定</b>		
当期首残高	△1,099	△1,189
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△90	334
当期変動額合計	△90	334
当期末残高	△1,189	△855
<b>その他の包括利益累計額合計</b>		
当期首残高	44,045	53,681
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,635	36,006
当期変動額合計	9,635	36,006
当期末残高	53,681	89,688
<b>新株予約権</b>		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	90
当期変動額合計	—	90
当期末残高	—	90

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>少数株主持分</b>		
当期首残高	8,609	10,102
<b>当期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,493	△2,781
当期変動額合計	1,493	△2,781
当期末残高	10,102	7,320
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	377,545	400,577
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
当期純利益	18,739	20,604
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	175	2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,128	33,315
当期変動額合計	23,032	45,180
当期末残高	400,577	445,757



（4）【連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	31,185	34,601
減価償却費	7,298	6,707
減損損失	315	29
負ののれん発生益	—	△1,284
持分法による投資損益（△は益）	△19	△30
貸倒引当金の増減（△）	△4,660	△1,576
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	1	△12
退職給付引当金の増減額（△は減少）	272	52
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△78	△1,255
睡眠預金払戻損失引当金の増減（△）	△12	△41
ポイント引当金の増減額（△は減少）	37	△38
偶発損失引当金の増減（△）	3	155
資金運用収益	△89,987	△86,978
資金調達費用	3,949	3,408
有価証券関係損益（△）	205	△2,157
金銭の信託の運用損益（△は運用益）	△30	△218
為替差損益（△は益）	△57	9
固定資産処分損益（△は益）	170	130
商品有価証券の純増（△）減	529	△719
貸出金の純増（△）減	△161,136	△274,572
預金の純増減（△）	128,298	175,659
譲渡性預金の純増減（△）	12,814	△25,043
借入金（劣後特約付借入金を除く）の純増減（△）	37,556	93,998
預け金（日銀預け金を除く）の純増（△）減	△45,906	74,411
コールローン等の純増（△）減	3,563	△63,906
コールマネー等の純増減（△）	34,228	820
債券貸借取引受入担保金の純増減（△）	△2,926	74,586
外国為替（資産）の純増（△）減	△579	△461
外国為替（負債）の純増減（△）	△169	△155
リース債権及びリース投資資産の純増（△）減	2,606	△1,125
資金運用による収入	89,710	88,409
資金調達による支出	△5,593	△4,171
その他	11,016	△21,303
小計	52,605	67,928
法人税等の支払額	△11,922	△10,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,682	57,896

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△479,701	△469,126
有価証券の売却による収入	153,780	122,707
有価証券の償還による収入	269,824	278,021
有形固定資産の取得による支出	△4,213	△4,120
無形固定資産の取得による支出	△2,626	△2,832
有形固定資産の売却による収入	244	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,691	△75,351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△4,822	△4,281
少数株主への配当金の支払額	△13	△13
自己株式の取得による支出	△2,178	△4,456
自己株式の売却による収入	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,012	△8,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91	349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29,113	△25,855
現金及び現金同等物の期首残高	124,694	95,580
現金及び現金同等物の期末残高	95,580	69,725

(5) 継続企業の前提に関する注記

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当行及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の経常利益及び税金等調整前当期純利益は、それぞれ53百万円増加しております。

(7) 追加情報

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(従業員持株会ESOP信託)

当行は、平成25年2月8日開催の取締役会決議に基づいて、同日に当行従業員の福利厚生の実現を目的とした「従業員持株会専用信託」(以下「ESOP信託」という。)を導入しました。

ESOP信託による当行株式の取得・処分については、当行がESOP信託の債務を保証しており、経済的実態を重視し、当行とESOP信託は一体であるとする会計処理を行っております。従って、ESOP信託が所有する当行株式については連結貸借対照表において自己株式として処理しております。

また、ESOP信託の資産及び負債並びに費用及び収益については連結財務諸表に含めて計上していません。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当行の経営事項及び業務執行に関する最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当行グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスを提供しており、「銀行業」、「リース業」を報告セグメントとしております。

「銀行業」は、当行及び海外連結子会社の群馬財務(香港)有限公司において預金業務、貸出業務、証券業務、有価証券投資業務、為替業務及び信託業務等を行っております。

「リース業」は、連結子会社のぐんぎんリース株式会社においてリース業務を行っております。

2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。報告セグメントの利益は経常利益をベースとした数値であります。セグメント間の取引価格は、一般の取引と同様の条件で行っております。

3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	108,749	18,139	126,888	1,986	128,875
セグメント間の内部経常収益	375	873	1,249	1,400	2,649
計	109,125	19,012	128,137	3,387	131,524
セグメント利益	30,260	1,280	31,541	1,952	33,493
セグメント資産	6,821,659	49,644	6,871,304	20,272	6,891,576
セグメント負債	6,386,267	40,450	6,426,718	13,036	6,439,754
その他の項目					
減価償却費	5,693	452	6,145	46	6,192
資金運用収益	87,241	8	87,250	84	87,335
資金調達費用	3,390	366	3,757	0	3,757
持分法投資利益	30	—	30	—	30
特別利益	—	205	205	1,078	1,284
(負ののれん発生益)	(—)	(205)	(205)	(1,078)	(1,284)
特別損失	160	—	160	—	160
(減損損失)	(29)	(—)	(29)	(—)	(29)
税金費用	11,189	486	11,676	760	12,436
持分法適用会社への投資額	577	—	577	—	577
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,031	796	6,828	32	6,861

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、物品等の輸送業務、現金自動設備の保守等業務及び保証業務等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	当連結会計年度
報告セグメント計	128,137
「その他」の区分の経常収益	3,387
セグメント間取引消去	△2,649
連結損益計算書の経常収益	128,875

(注) 差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	当連結会計年度
報告セグメント計	31,541
「その他」の区分の利益	1,952
セグメント間取引消去	△16
連結損益計算書の経常利益	33,477

(3) 報告セグメントの資産の合計額と連結貸借対照表の資産計上額

(単位:百万円)

資産	当連結会計年度
報告セグメント計	6,871,304
「その他」の区分の資産	20,272
セグメント間取引消去	△46,729
連結貸借対照表の資産合計	6,844,847

(4) 報告セグメントの負債の合計額と連結貸借対照表の負債計上額

(単位:百万円)

負債	当連結会計年度
報告セグメント計	6,426,718
「その他」の区分の負債	13,036
セグメント間取引消去	△40,664
連結貸借対照表の負債合計	6,399,089

(5) 報告セグメントのその他の項目の合計額と当該項目に相当する科目の連結財務諸表計上額

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	6,145	46	514	6,707
資金運用収益	87,250	84	△356	86,978
資金調達費用	3,757	0	△349	3,408
持分法投資利益	30	—	—	30
特別利益	205	1,078	—	1,284
(負ののれん発生益)	(205)	(1,078)	(—)	(1,284)
特別損失	160	—	—	160
(減損損失)	(29)	(—)	(—)	(29)
税金費用	11,676	760	△2	12,433
持分法適用会社への投資額	577	—	—	577
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,828	32	92	6,953

(注)1 当連結会計年度における調整額は、次のとおりであります。

- (1)減価償却費の調整額514百万円は、セグメント間相殺消去額及び連結上「有形固定資産」及び「無形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であります。
  - (2)資金運用収益の調整額△356百万円は、セグメント間相殺消去額等であります。
  - (3)資金調達費用の調整額△349百万円は、セグメント間相殺消去額であります。
- 2 連結子会社の持分比率引上げにより計上した負ののれん発生益(特別利益)は、「リース業」セグメントに205百万円、「その他」に1,078百万円計上しております。

(1株当たり情報)

		当連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)
1株当たり純資産額	円	935.59
1株当たり当期純利益金額	円	43.37
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	円	43.35

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度末 (平成 25 年 3 月 31 日)
純資産の部の合計額	百万円	445,757
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	7,411
（うち新株予約権）	百万円	90
（うち少数株主持分）	百万円	7,320
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	438,346
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	千株	468,523

2 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益	百万円	20,604
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る当期純利益	百万円	20,604
普通株式の期中平均株式数	千株	475,124
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額	百万円	—
普通株式増加数	千株	197
うち新株予約権	千株	197
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 【個別財務諸表】

(1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
現金預け金	192,766	95,679
現金	41,007	47,362
預け金	151,758	48,317
コールローン	43,210	103,215
買入金銭債権	10,346	13,843
商品有価証券	2,400	3,119
商品国債	1,558	1,799
商品地方債	841	320
その他の商品有価証券	—	999
金銭の信託	3,929	3,929
有価証券	1,990,235	2,138,844
国債	935,828	811,324
地方債	499,395	519,490
社債	227,919	268,780
株式	111,625	144,028
その他の証券	215,467	395,219
貸出金	4,111,013	4,382,661
割引手形	50,927	45,720
手形貸付	128,217	125,536
証書貸付	3,439,530	3,722,111
当座貸越	492,338	489,292
外国為替	4,678	5,138
外国他店預け	4,342	4,938
買入外国為替	63	6
取立外国為替	271	192
その他資産	38,124	33,223
前払費用	17	132
未収収益	8,005	7,647
金融派生商品	5,072	2,715
その他の資産	25,029	22,728
有形固定資産	62,645	62,811
建物	13,853	13,479
土地	43,162	43,156
リース資産	2,161	1,753
建設仮勘定	285	1,483
その他の有形固定資産	3,181	2,938
無形固定資産	8,452	8,513
ソフトウェア	7,754	7,813
その他の無形固定資産	698	699
支払承諾見返	14,640	15,863
貸倒引当金	△48,755	△47,752
資産の部合計	6,433,687	6,819,090

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
預金	5,644,940	5,822,845
当座預金	207,058	208,908
普通預金	3,004,688	3,180,459
貯蓄預金	96,661	97,300
通知預金	15,045	17,465
定期預金	2,249,364	2,245,042
定期積金	5,332	5,147
その他の預金	66,790	68,521
譲渡性預金	145,912	120,868
コールマネー	36,611	37,432
債券貸借取引受入担保金	100,948	175,535
借入金	41,247	134,366
借入金	41,247	134,366
外国為替	454	297
外国他店預り	0	0
売渡外国為替	392	255
未払外国為替	60	41
その他負債	37,796	36,490
未払法人税等	3,665	6,351
未払費用	6,376	5,529
前受収益	1,726	1,636
給付補填備金	4	4
金融派生商品	7,866	8,522
リース債務	2,205	1,780
その他の負債	15,950	12,665
役員賞与引当金	70	58
退職給付引当金	2,299	2,352
役員退職慰労引当金	2,004	749
睡眠預金払戻損失引当金	1,127	1,086
ポイント引当金	159	120
偶発損失引当金	491	647
繰延税金負債	9,109	28,590
再評価に係る繰延税金負債	9,751	9,750
支払承諾	14,640	15,863
負債の部合計	6,047,565	6,387,054



(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
純資産の部		
資本金	48,652	48,652
資本剰余金	29,114	29,114
資本準備金	29,114	29,114
利益剰余金	253,660	266,623
利益準備金	43,548	43,548
その他利益剰余金	210,112	223,075
圧縮記帳積立金	949	943
別途積立金	186,650	198,650
繰越利益剰余金	22,512	23,481
自己株式	△169	△2,960
株主資本合計	331,258	341,429
その他有価証券評価差額金	41,237	76,914
繰延ヘッジ損益	△42	△64
土地再評価差額金	13,667	13,665
評価・換算差額等合計	54,863	90,515
新株予約権	—	90
純資産の部合計	386,121	432,036
負債及び純資産の部合計	6,433,687	6,819,090

(2) 【損益計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
経常収益	109,053	109,004
資金運用収益	90,171	87,150
貸出金利息	66,240	63,774
有価証券利息配当金	22,644	22,258
コールローン利息	255	331
債券貸借取引受入利息	0	0
預け金利息	479	132
その他の受入利息	551	653
信託報酬	0	—
役務取引等収益	14,952	15,256
受入為替手数料	4,684	4,698
その他の役務収益	10,268	10,558
その他業務収益	1,018	2,668
外国為替売買益	440	402
商品有価証券売買益	26	24
国債等債券売却益	513	2,173
国債等債券償還益	4	10
金融派生商品収益	30	56
その他の業務収益	2	1
その他経常収益	2,911	3,928
償却債権取立益	12	29
株式等売却益	958	1,602
金銭の信託運用益	30	218
その他の経常収益	1,909	2,077
経常費用	80,622	78,743
資金調達費用	3,927	3,392
預金利息	2,984	2,291
譲渡性預金利息	94	74
コールマネー利息	58	181
債券貸借取引支払利息	256	288
借入金利息	9	111
金利スワップ支払利息	89	152
その他の支払利息	433	292
役務取引等費用	5,972	6,284
支払為替手数料	811	808
その他の役務費用	5,160	5,475
その他業務費用	504	112
国債等債券売却損	487	112
国債等債券償却	16	—
営業経費	60,330	59,146
その他経常費用	9,887	9,808
貸倒引当金繰入額	5,109	4,855
貸出金償却	—	8
株式等売却損	986	1,204
株式等償却	190	312
その他の経常費用	3,600	3,428
経常利益	28,431	30,260

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
特別利益	230	—
固定資産処分益	230	—
特別損失	715	160
固定資産処分損	400	130
減損損失	315	29
税引前当期純利益	27,946	30,100
法人税、住民税及び事業税	9,429	11,167
法人税等調整額	324	20
法人税等合計	9,753	11,188
当期純利益	18,192	18,911

(3) 【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	48,652	48,652
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	48,652	48,652
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	29,114	29,114
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	29,114	29,114
その他資本剰余金		
当期首残高	—	—
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
資本剰余金合計		
当期首残高	29,114	29,114
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	29,114	29,114
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	43,548	43,548
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	43,548	43,548
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金		
当期首残高	882	949
当期変動額		
圧縮記帳積立金の積立	73	—
圧縮記帳積立金の取崩	△6	△6
当期変動額合計	67	△6
当期末残高	949	943
別途積立金		
当期首残高	178,650	186,650
当期変動額		
別途積立金の積立	8,000	12,000
当期変動額合計	8,000	12,000
当期末残高	186,650	198,650

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	19,219	22,512
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
圧縮記帳積立金の積立	△73	—
圧縮記帳積立金の取崩	6	6
別途積立金の積立	△8,000	△12,000
当期純利益	18,192	18,911
自己株式の処分	△0	△0
自己株式の消却	△2,172	△1,665
土地再評価差額金の取崩	175	2
当期変動額合計	3,292	968
当期末残高	22,512	23,481
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	242,300	253,660
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
圧縮記帳積立金の積立	—	—
圧縮記帳積立金の取崩	—	—
別途積立金の積立	—	—
当期純利益	18,192	18,911
自己株式の処分	△0	△0
自己株式の消却	△2,172	△1,665
土地再評価差額金の取崩	175	2
当期変動額合計	11,360	12,962
当期末残高	253,660	266,623
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△165	△169
<b>当期変動額</b>		
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	1
自己株式の消却	2,172	1,665
当期変動額合計	△4	△2,790
当期末残高	△169	△2,960
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	319,901	331,258
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
当期純利益	18,192	18,911
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	0
自己株式の消却	—	—
土地再評価差額金の取崩	175	2
当期変動額合計	11,356	10,171
当期末残高	331,258	341,429

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	32,711	41,237
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,526	35,677
当期変動額合計	8,526	35,677
当期末残高	41,237	76,914
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	△38	△42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	△22
当期変動額合計	△3	△22
当期末残高	△42	△64
土地再評価差額金		
当期首残高	12,466	13,667
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,201	△2
当期変動額合計	1,201	△2
当期末残高	13,667	13,665
評価・換算差額等合計		
当期首残高	45,139	54,863
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,724	35,652
当期変動額合計	9,724	35,652
当期末残高	54,863	90,515
新株予約権		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	90
当期変動額合計	—	90
当期末残高	—	90
純資産合計		
当期首残高	365,041	386,121
当期変動額		
剰余金の配当	△4,835	△4,286
当期純利益	18,192	18,911
自己株式の取得	△2,178	△4,456
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	175	2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,724	35,742
当期変動額合計	21,080	45,914
当期末残高	386,121	432,036

(4) 継続企業の前提に関する注記

当事業年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

該当事項はありません。

## 役員 の 異 動 に つ い て

### 1. 新任取締役候補

平成25年6月25日開催予定の定時株主総会において選任の予定

取 締 役                    ふか い あき ひこ  
深 井 彰 彦 (現 総合企画部長)

### 2. 役付執行役員予定者

平成25年5月10日開催の取締役会において内定(就任予定日 平成25年6月25日)

常務執行役員            みなみ            しげよ  
南 繁 芳 (現 執行役員 高崎支店長)

### 3. 新任執行役員予定者

平成25年5月10日開催の取締役会において内定(就任予定日 平成25年6月25日)

執 行 役 員                    なか むら しゅう すけ  
中 村 修 輔 (現 総務部長)

執 行 役 員                    こば やし                    さとし  
小 林 哲 (現 住宅融資部長)

執 行 役 員                    はな さき                    さとし  
花 崎 哲 (現 大宮支店長)

### 4. 退任予定執行役員

平成25年6月25日 退任予定

執行役員監査部長            まち だ しゅう いち  
町 田 修 一 (群馬信用保証株式会社 代表取締役社長就任予定)